

MaaSアプリと交通結節点の連携による「気軽におでかけできるまち」の実現

春日井市版MaaSアプリ「CentX/move！かすがい」およびエリア版MaaSアプリ「CentX」と、過年度に高蔵寺ニュータウンで試験的に設置したスマートな交通結節点「モビリティポート」を連携させることにより、高蔵寺ニュータウン内で展開する多様な交通サービスを1つのデバイスで利用可能とし、ニュータウン住民や来訪者が「気軽におでかけできるまち」の実現を目指す。

協議会の 構成員	春日井市、名古屋大学、【幹事】一般財団法人計量計画研究所、大日本印刷株式会社、名古屋鉄道株式会社、独立行政法人都市再生機構中部支社、株式会社未来シェア、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社		
地域 課題	● 高齢化に伴い、「移動」に不安を抱える高齢住民が増加 ● 路線バス運行本数やタクシー事業者の減少と移動サービス多様化 ● ニュータウン内の賃貸住宅の空き室増加 ● 「気軽なおでかけ」に対する潜在的なニーズの存在 ● バス事業効率化に伴うバス乗車券販売窓口の縮小		
事業 概要	サービス 開始時期	2023年12月	
	事業エリア	春日井市 高蔵寺ニュータウン内	
	MaaS システム	春日井市版MaaSウェブアプリ「move！かすがい」を改良、「モビリティポート」と連携	
	交通 サービス	● 高蔵寺ニュータウン内で運行されている「AIオンデマンド乗合サービス」や実証実験期間中に導入するシェアモビリティの予約機能、コミュニティバスの乗車券販売機能、地域内の商業施設等のクーポン発券機能等を備えたMaaSアプリの機能強化 ● 上記アプリ機能をエリア内に設置する「モビリティポート」に実装することで、スマホを使わない人でも気軽にMaaSアプリを使っておでかけできる環境を実現	
	交通以外 のサービス	● 地域内の商業施設等の情報やクーポンをマップ形式で情報提供し、地域内のおでかけを促進	
事業 目的	● アプリとモビリティポートの連携等に関する技術的検証 ● アプリとモビリティポートの連携に対する市民の受容性や行動変容効果の検証 ● モビリティポートの設置・運用が賃貸住宅の居住意向や外出頻度の向上等、地域の価値向上に及ぼす影響の把握・検証 ● アプリやモビリティポートの維持・管理コストをまかなうためのスキーム構築		

事業イメージ
高蔵寺ニュータウンでのMaaSアプリと交通結節点「モビリティポート」連携実証実験イメージ

評価指標
● 地域内の公共交通利用者数の変化 ● 地域住民の外出頻度の変化 ● ニュータウン内の賃貸住宅への継続的な居住意向・転居意向の変化 ● MaaSアプリ・モビリティポートの利用回数 等
今後の方向性
● ニュータウン住民や来訪者の移動利便性向上と施設連携でのサステナブルな運用モデル作成 ● ニュータウン内地域イベント情報提供でのお出かけ機会創出 ● 公共交通利便性向上によるUR賃貸住宅の入居率向上・定住率向上 ● バス・モビリティポートでのタッチポイントによる移動データ取得とデータ活用